

国立看護大学校後援会 第21回総会 議事要旨

- 1 日 程 令和4年4月8日（金） 11：30～12：00
- 2 場 所 本館棟 講堂
- 3 出席者 （令和3年度指定理事 順不同・敬称略）坂井彰子
（令和4年度理事候補 順不同・敬称略）阿江綾子、井田美樹、柿本朱音、風間徳昭、高津美穂、西村直子、水上有美、森田きよ子、和田恵美
（令和4年度後援会会員）計68名
（事務局）菊地事務局長（学務課長）
（大学校）萱間大学校長、飯野看護学部長、西岡学生委員会委員長、尾崎総務課長、三枝経理係長
- 4 欠席者 （令和4年度理事候補 順不同・敬称略）
八木昭江、本仮屋有美子、森山圭子、横澤久美子、木村ひとみ、西脇正通、渡邊百合子（以上委任状提出）
（令和4年度後援会会員）計348名（うち委任状提出者211名）
- 5 議事概要

●副会長の萱間大学校長より挨拶を行った。

（1）令和3年度 事業報告について

阿江理事より報告を行った。

●令和3年度事業報告（資料1）

令和3年度事業報告について、「会員相互の連携等」として、11月24日に対面とオンラインのハイブリッドで理事会を開催、11月29日に書面議決方式で定期総会を開催した。新型コロナウイルスの影響もあり開催方法開催時期とも変則開催となったが、今年度は通常開催に近い形にしつつオンラインも併用していくこととしたい。後援会だより第20号を令和3年3月に発行した。

「学生活動への助成」に関しては、新型コロナウイルスの影響により規模縮小となったが、大学校祭、サークル活動、親睦行事への助成を実施した。

「学生の教育振興への助成」に関しても、新型コロナウイルスの影響で謝恩会が中止になるなどの影響があったが、DVD作成費用の助成など代替の助成を行った。

「国家試験への助成」等は例年どおりに行った。

「学生の健康への支援」としては、新型コロナウイルスの影響により食堂運営が無かったため、食堂運営支援は行っていない。一方、予防接種・抗体価検査助成に関しては、申し出のあったすべての学生に支援を実施するとともに新型コロナによる出席停止学生が有償PCR検査を受けた際の検査代支援も行っている。

なお、「その他」として実習着リサイクル事業の実施を行っているが、新型コロナウイルスの影響により、後援会役員による大学校祭への参加、国際看護学実習経費貸与事業を実施せずという結果になっている。

（2）令和3年度の後援会収支決算について

阿江理事より説明を行った。

●令和3年度の後援会収支決算（案）（資料2-1）

収入は、入会金・会費及び実習着リサイクル事業収入5,159,100円に前年度繰越金、資金移動金を合わせて19,115,032円となっている。摘要欄に記載のとおり令和3年3月31日現在で令和3年度入学生101名のうち1名分の会費未納が発生しているが、令和4年度入学生の入会金が3月中に入金されているため数値上は予算額を上回っていることになる。

一方、支出は、3,982,310円であった。新型コロナウイルスにより助成事業の縮小が余儀なくされたことが主な原因だが、計画額よりもおよそ120万円の減となる。資金移動額を含めた支出額は、8,608,351円となっている。

項目別にみると「通信費」と「親睦行事助成金」に関して予算額を超過している。特に学生同士の交流や親睦のための助成である「親睦行事助成金」に関しては、令和3年度は在校生から卒業生への記念品代金の補助を行っている。本来であれば予算を超過することなく助成すべきところではあるが、新型コロナ影響により学生同士の親睦や交流が極端に少なかった令和2年度実績を参考に大幅に減額した予算を組んだという経緯があり、結果として12万円ほど超過するに至っている。中項目の「学生活動事業助成金」全体としては残額が生じている状況のため、どうかご容赦いただきたい。

今回報告した収入金額、支出金額については、繰越金及び資料2の最下部欄外に注釈を記載している後援会が運用している口座間での資金移動を含むものであり通帳、帳簿と合わせて監査を行う対象の金額である。収入の部・支出の部とも支繰越金及び出用口座への資金移動額が載っているため当該金額を除いた実行上の収入・支出額は「収入合計（ア）」と「支出合計（イ）」に表示してある5,159,100円、3,982,310円になる。

●長谷川美佐保記念奨学基金の収支報告（資料2-2）

令和3年度は7,928,000の返済があり、うち3名が完済になっている。

一方、6,160,000円の貸付を行った。うち新規貸付は2名、令和3年3月末現在の貸付残高は27名分で31,860,000円である。

●助産師育成基金の収支報告（資料2-3）

令和3年度は300,000の返済があり全ての学生が完済になった。令和3年度中の新規貸付はなかったため、令和3年3月末現在の貸付残高は無くなっている（0円）。

（3）令和3年度会計監査報告書（資料3-1～3-3）

阿江理事より報告を行った。

●令和3年度会計監査報告書（資料3-1～3-3）

後援会監事2名により会計監査を行い、後援会助成事業、長谷川美佐保記念奨学基金、助産師育成基金「子（ねずみ）」にかかるすべての帳簿、証拠書類等において適正に処理されているものと監査報告されたことを報告する。

●議事（1）～（3）について、採決を行った。

→挙手の状況を判断し、出席者の過半数で案の通り承認とした。

（4）令和4年度役員の選出（案）について

坂井会長より説明を行った。

●令和4年度 国立看護大学校後援会役員名簿（案）（資料4）

先日（4/6）の理事会で推薦することとなった役員名簿案である（後援会会則第5条の人数の範囲内、第7条の会長、副会長、理事及び監事は、理事会で推薦し総会で承認）

●大学校長、事務部長を含め、令和4年度役員について、採決を行った。

→挙手の状況を判断し、出席者の過半数で案の通り承認とした。

●柿本新会長及び新役員の出席者より一言ずつ挨拶を行った。

（5）令和4年度の事業計画（案）について

西村理事より説明を行った。

●令和4年度事業計画（案）（資料5）

事業計画については、「1会員相互の連携等」として、総会・理事の開催、大学校祭への参加、後援会だよりの発行などを計画している。

「2学生活動への助成」として、大学校祭への助成、サークル活動への助成、親睦行事への助成、運動会への助成を計画している。

「3学生の教育振興への助成等」として、国家試験模擬試験経費の助成、国家試験問題WEB使用料経費の助成など国家試験への助成のほか、実習施設における感染対策関に起因する学生の費用負担の軽減を目的とした事業を新たに計画している。

「4学生の健康への支援」として、予防接種・抗体価検査への助成を例年通り行うと共に食堂運営業者の撤退に伴う後継事業者確保のための支援及び学生への健康保持支援事業も昨年に引き続き行う計画としている。

(6) 令和4年度収支予算(案)について

西村理事より説明を行った。

●令和3年度収支予算(案) (資料6)

収入・支出とも過去の実績ベースを基本に計上した。繰越金、資金移動による入金額などを除く収入合計額は4,530,001円、昨年度決算よりも63万円弱の減となっている。繰越金、資金移動額を加えると19,662,723円、約55万円の増となる。

次に支出の部については、総務費、事業費とも過去実績をベースにして現在の状況などを加味して計上している。支出合計額は、収入の部と同様に資金移動額を除いて5,005,710円、昨年度決算額比で約102万円の増となる。資金移動額を含めると9,631,751円となる。

項目別に見ていくと、まず総務費について、例年とはほぼ同等の金額を計上している。会議費については、ここ2年ほどコロナの影響で理事会の開催頻度が限られたものになっていたが、今後開催回数が増えることも考慮して令和3年度実績額プラスαで計上している。

続いて「学生活動事業助成金」は、大学校祭、サークルとも開催方法、活動規模などがコロナ次第ということもあり、昨年実績額を上回る金額ではあるが、通常年度の5割程度を目安に予算計上している。

「親睦行事助成金」に関しては、昨年度の予算超過を鑑み前年度実績額ベースで計上している。

次に「教育振興助成金」に移る。「国家試験模試助成」に関しては昨年度実績に基づき計上し新型コロナのための郵送料の備えも併せて計上している。「卒業行事記念品等」では、謝恩会の開催は現時点では未定だが、例年100万円の助成を後援会から行っており、当該金額は予算計上しておく必要がある。中止となった際には過去2年間と同様に代替の助成を行うことになるので、あらかじめご承知いただきたい。

「新型コロナウイルス対応にかかる緊急助成」では、新型コロナウイルス禍で行われる実習では、学生の金銭的な負担増も懸念される。後援会からの支援として、

①感染対策を理由に実習施設からの貸与が中止になった施設入館カード用パスケース
②ある実習施設で装着が義務付けられているゴーグルの購入代金③新型コロナ対策により遠方実習施設内の宿泊施設が使用中止となったため民間宿泊施設使用に伴う負担増への補助といった助成を予算計上したため前年度実績額を大幅に上回っている。

一方、「学生健康支援」に関しては、食堂運営事業者の撤退もあり利便性を少しでも向上すべく電子レンジの増設を計画している。

また学生の健康保持支援としてQUOカードの配布を前年度と同様に計画しているが、持続可能性を優先して今年度は500円カードの配布とする。

「予防接種・抗体価検査助成金」に関しては、PCR検査代の助成を昨年度から行っているが、対象者の増減予測が出来ないためやや多めに予算額を見積もっている。

最後に「予備費」は災害等による不測の事態に備え予備費を若干多目に計上した。

●令和4年度の事業計画及び予算案について、採決を行った。

→挙手の状況を判断し、出席者の過半数で案の通り承認とした。

●最後に退任となる坂井会長よりご挨拶いただき、閉会となった。

以 上